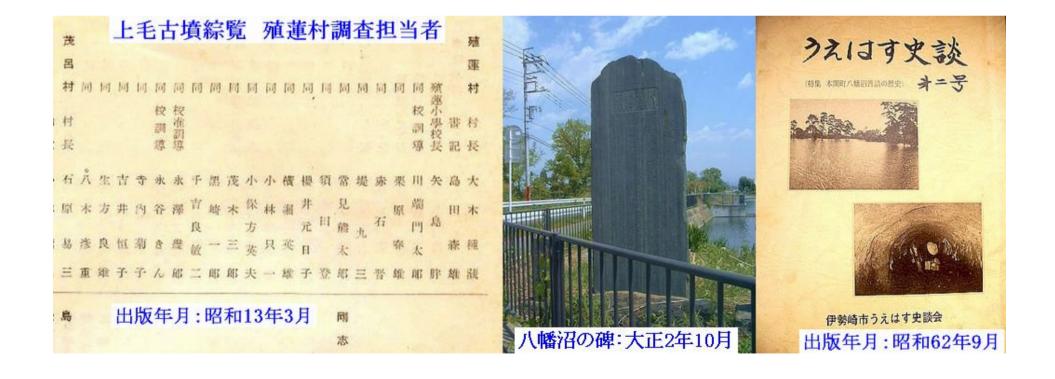
O.殖蓮村第75号墳はなぜ残ったか?

古墳調査から見えてきた地域の底力 八幡沼=稲作用に掘られた人造貯水池(ため池) 30尺X12尺の小さな古墳 周濠のように水でとりかこまれているからか? この弁天島が古墳だと知る人はほとんどいなかった



1. 八幡沼は人造貯水池(ため池)

- (1)八幡沼の碑
- (2)地域に残された記録
- ⇒村民(農民)の生活がかかった稲作⇒大土木工事を挙行 第75号墳に関する確実な記録はありません。⇒本報告も 推測になります事をご了承お願いします。



2. 大規模農地開拓で消滅した古墳もあった

地域で行われた大規模の農地開拓が、山林、原野等にあった古墳の消滅の一因となったと考えられます。その背景に人口増加があったようです。

開拓記念之碑:「昭和8年4月総工費金五千八百余円投ぜし 尊き事業の竣工(十三町歩余)」(耕地整理組合を設立して開 拓を実行)



殖蓮村=1889年(明治22年)、上植木村、下植木村、八寸(はちす)村が合併し成立する。「植」を「殖産興業」の「殖」に、「はちす」を極楽浄土の「蓮」にとり、「殖蓮」としたとの事だ。産業の発展と地域の繁栄を願った命名。

3. 本関町古墳群で残った古墳例

ーノ関古墳(史跡: 殖蓮村第71号墳; 前方後円墳)、第75号墳(無指定: 円墳) 第75号墳は八幡沼の中で残りました。

◎ 小此木不動產建設器 100 0270 270 0000	MARK MARKCOSSUCU.		生開発(株) Tal 02/0-02	
1 1/1 /1/1	M/	11 412	7-7 50/-	182 183
~ //- /// /	11/F 1 2 /N	1/1/2/9		(中央 (1 (1 (1 (1 (1 (1 (1 (1 (1 (1 (1 (1 (1
SF-11/ N/	1/ /	AX CES	STEERE OF STEERE	翻门前
五的中町			1 Page	問門間
1/1/2000 /1/1/-		1 (54)		日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本
7 1 1 10 10 10	11/N////		1	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
	1/ A//cs)	TOX X ABBE	1 1/3/1/2	10 to 2:0
建對 外方方克男		TO AME	1	1
@ @ @ @ @ //		17	1 / "	111 /2
00000		THE TX	III RE	#0 #0
@ - FIE BE BE BE BE	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		A STATE OF S	200 mm.s 知田
9-399999	PH PER T		P A may 3	MA MAG
OCO OCEROED UNI	A CO	9	3 ma H	1 1
(2)(23). 28. 46. 54 75. 76	OX S	F6)		Carl M
10 00 X 10 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		160)		Mas
12001/1/1/		(E)	900大	田田
		1 Date	101	may may
	TO THE STATE OF TH	1 200	1	~ /
100 mg	1 1/1	Was 70	33911	me T
		11/0	AN 133 11	題 4
15	x TITES	JOS X	2 1	- Par
//// (Gb)		八扇	TOTAL PARTY OF THE	100
	1// 100	門廳所	三和町	
//// (76)×	1/	1000	1000 m	
11/1	The state of the s	174× 10	- J. T.	マルツの
新習	100	*	1	Mag 5 2 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3
/ 500 page 100 page 1	THE WAR TO LA	1/1/	mi	
13元 2 1811/6月 13元	1/28/	7 5 X	(B)	
3 R 2 496 AP	本即任		Vmas	201 E
2015/7/22 14:30 15:46	(28) (CD) X	D		100 K 80 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0
		(A)	Ba1	20 21
287	1-(1)	S PON	· E	6
	Tab I	Y N		6 6 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8
	O CO		-	- G
E		THE STATE OF THE S		
播本会計事務所 (1.15			◎ 不動産のホーム	-

殖蓮地区の古墳数・人口・戸数	
上毛古墳綜覧(昭和13年)	
記載古墳総数=	8423基
佐波郡殖蓮村の古墳数=	338基
(佐波郡殖蓮村郷土誌)(明治43年頃)	
人口=	4414人
戸数=	703戸
殖蓮公民館資料(2016年1月1日現在)	
(殖蓮地区の人口と世帯数)	
人口=	21,303人
世帯数=	9,003戸

4. 八幡沼敷地(多分村有地)にあった神社と古墳(伝承)をはどうなったか? 大規模土木工事の用地選定・開削決定に関して村民の間で残すという合意があったと推定。 古い沼は干ばつの時役立たない⇒新しい沼を作ろう! 八幡沼は八幡宮の跡地に作られ、八幡宮は上樹神社に合祀。 「迅速測図」には八幡沼(新沼)に弁天島の記載はありません。 「敷地内北部分に三丘(古墳と推定)があった。現在は弁天島が

ある。((うえはす史談 第二号)



5. 八幡沼の古墳は波に浸食されずに残った!

- (1) 弁天島が沼の相当北側にあり伝承の位置に合う。
- (2)弁天島や堤防が良く写っており、良好に維持管理されており、ため池として機能している。
- (3) 弁天島が波で浸食されれば、古墳の崩壊もあったと推定
- (4) 波志江沼の弁天島は波の浸食で水没?
- (5) 弁天島が古墳なら、古墳は残ったろう(推測)。





6. ため池保存の活動・講演会等

地域では、ため池保存の活動や講演会が行われました。

- (1)講演会: 先人達の偉業を知る。
- (2)ため池百選応募(県内3候補の一つ):ため池を守る。
- (3) 記念碑建立:八幡沼開削150年記念;歴史を語り継ぐ。

東次の時代を生きた 郷土の先覚者 川端宇兵衛と 八種宮(新治)の歴史





前日 日本 1年 1年 日本 1年 1年 日本 1年 1

1時 平成22年2月7日(日) 13:30~15:30

福蓮公民館 (TEL 0270-25-4560) 入場無料

主領 上級木水利環境研究会(代表 川田県文治) 信贷 上級木水利組合(代表 川田県三)、和国民政会

利用企用学研究を開発 (代表 古田川県) まんて人間でありた 利用地に基準支援的な、よの選挙を明確認定が 八幡招

やはたぬま



八幡宮があった弁天島

口ため池の所在地 群馬県伊勢崎市

口ため池の特徴

八幡沼は、江戸末期にかんがい対策とし て八幡宮を移した跡地に開削され、現在で も地域の水田50haのかんがい用水として 利用されています。

ため他の概要

開削工事は最民が費用負担し、三年にわ たって行われた当時としては大がかりなも のでした。地部月10億利10分散水するた めの地下トンネルを振った疑道が今も残っ ており、歴史的な意観のある貴重な文化遺 産であり、八幡宮に代わり住民の心のより どころとなっています。

関辺には縁が残っており、交通の要衝にも 位置し、景観、生物の多様性(魚類、鳥類、 ホタル等が生息)、文化、歴史など様々な面 で重要なため池です。



農林水産省「ため池百選」のサイトより引用



7. 弁天島と古墳が結びついた一瞬!

「弁天島に古墳がありそうです!」という情報

- ⇒弁天島が古墳であるという間接的証言と 考えます。
- (1)建築関係者:八幡沼の弁天島の工事をした時、鉄の杭を 打ったがコチンと石に当たって、杭が入りませんでした。 下に古墳がありそうです。
- (2)元水利役員:護岸工事の時、弁天島の石を叩いたら、 空洞の音がした。石棺だろう。
- (3) 幼少時に弁天島に泳いで渡った女性: 弁天島はお供えの餅のように水際がくびれていた(浸食しにくかった?)
- (4) 少数の関係者は弁天島が古墳だと認識していたようですが、一般の人は単なる弁天島と見ていたようです。

8. なぜ古墳を弁天島にしたか?(推定)

推定

- (1)水の神である弁財天を祭り、沼を守る。
- (2)弁天島の波消し効果で沼を守る。(土地改良の専門家の説。)
- (3)移転した神社の機能を古墳で代用(祭祀の場)?
- (4)江戸末期の村民も古墳は古代人の墓と認識(祖先崇拝)?

参考メモ:

老朽化した波志江沼(波志江沼環境ふれあい公園)の弁天島の工事前調査:古い弁天島は、版築という工法で土が突き固められていた(耐久性に配慮した工事がされていた)。

八幡沼の弁天島=(1)+(2)?

9.上毛古墳綜覧をどう解釈するか?

八幡沼開削時の伝承等が綜覧に反映されていそうだ

③市町村名	墳番号・	⑤墳形 ⑥現状	B.W.F.O. + A	@=K++4#			①規模						
			⑥現状	の発掘の有無	⑧所在地		⑨地目	大きさ		②所有者	©出土品	⑫備考(由來、徵證、	
				有無	大字	小字	番地	(300000000	1	2	W//H/a	0±1m	文獻)
						7.7	田地		数値	数値			
佐波郡殖蓮村	75	画型	沼ノ中	不詳	上植木	八幡	1,215	山林	30	12	村有地	(記載なし)	(記載なし)
佐波郡殖蓮村	76	圓型	沼ノ底	有	同	同	1,215	(記載なし)	不詳	(記載なし)	同	カニロ	石棺出シトイフ

上毛古墳綜覧の調査は八幡沼開削から71年目現況と綜覧記事から推測すると;

(A) 殖蓮村75号墳: 弁天島として保存(推測)

(B) 殖蓮村76号墳: 平削(推測)

10. これは殖蓮村76号墳の残骸か?

終戦後・渇水期の沼底の航空写真

第75号墳の北側の白い部分は第76号墳の残骸か?

古墳綜覧には第76号墳は発掘暦があり、 沼底にあると記載されている。

上毛古墳綜覧の調査は夏(満水期)に行われている。



11. 第75号墳と弁天島の一体化は謎?

雨乞い等の神頼みの習俗(神輿、屋台)⇒効果が確実な土地改良へ(ため池・用水路の開発)⇒神仏への信仰の衰退

八幡沼の弁天島が古墳であるという確実な記録は、上毛古墳綜覧以外に見当りません。「綜覧台帳」には、「現在弁財天ヲ祭ル」と記録されています。当時の村民達は、この古墳を平削せずにあった場所にそのまま残し、そこに弁財天を祭り、移転合祀した神社に代わる、ため池の守りとしたのではないでしょうか?弁財天の石祠の有無等についての調査は今後の課題です。



12. 第75号墳はなぜ残ったか?

⇒共同体意識⇒合理主義・協同事業・協同組合(近代的組織)⇒近世~近代への過渡期のバランス精神が影響したと考えます。

江戸末期:神社を移転してため池を作る⇒大胆な発想。自然観・宗教観・世界観・の変化:⇒合理主義・人間主義



13. SMALL IS BEAUTIFUL

佐波郡殖蓮村第75号墳は、沼の開削に際し、村民が残す選択をして、その後も八幡沼の維持管理を地域で続ける中で、今日まで残ったものと考えられます。今回の調査で改めて、地域の人々の底力を感じました。今後は、第75号墳が、八幡沼の弁天島古墳と呼ばれ、地域の人々に古墳として親しまれ、末永く保存される事を願って、調査報告とさせて頂きます。

ご静聴ありがとうございました。





上野国佐位郡正倉跡(国指定史跡):八面甲倉の基石配列